

指定管理施設の管理運営状況にかかる評価表

【 令和6年度分 】

施設名	東須佐サポートセンター「かがやきの家」	施設所管課	高齢者福祉課
指定管理者	社会福祉法人やまゆり	指定管理期間	令和5年04月01日 から 令和10年03月31日 まで

1. 総合評価

市	【優れていると評価した点】 経費削減や施設維持管理に特に力を入れて取り組んでおり、良好な管理を実施している。また、利用者や地域住民に対して誠実な対応をして交流を深め、施設の評価を高めている。
	【改善すべき点】 地域の人口減少等の影響により、利用者確保が厳しい状況であるが、PR活動や事業内容の充実で更なる利用促進を図る必要がある。
指定管理者	【優れていると評価した点】 利用者の満足度を上げることで、稼働率をアップさせ、経営の安定に努めた。建物や設備の老朽化について注意しながら使用し、はやめに連絡をするようにしている。
	【改善すべき点】 事務作業等をスムーズに行う。

2. 施設利用について

総括	地域のイベントへの参加、中学生・高校生の実習・職場体験の受入等を行っており、地域に密着した施設になるよう努力している点が評価できる。
----	--

(1) 収支状況の推移（自主事業を含む）

（単位：千円）

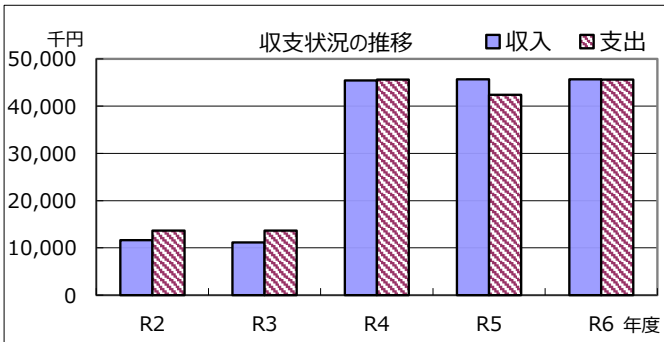
施設の収支	項目	R2	R3	R4	R5	R6
	収入	11,660	11,149	45,417	45,703	45,704
	うち指定管理料	482	560	428	560	560
	うち利用料	11,178	10,581	44,988	45,139	45,143
	その他	0	8	1	4	1
	支出	13,650	13,659	45,636	42,415	45,648
	差引	△ 1,990	△ 2,510	△ 219	3,288	56

＜上記以外の市の収入、支出＞

（単位：千円）

市の収支	項目	R2	R3	R4	R5	R6
	収入（使用料）	0	0	0	0	94
	支出	454	6	502	64	1,974
	うち修繕費	402	0	495	11	1,967

※大規模修繕を除く



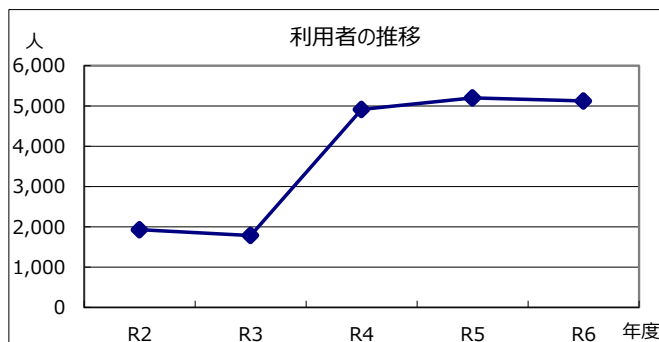
収入増・コスト削減に関する取組

稼働率を意識した運営、適切な人員配置、無駄な経費の削減（ICT化、業務の効率化、法人でまとめて消耗品等購入することでのコストダウン等）に努めた。

(2) 利用者の推移

(単位：人)

利用者	R2	R3	R4	R5	R6
	1,928	1,783	4,914	5,200	5,124



利用者の増に向けた取組・利用の動向

・社会福祉法人やまゆりが、令和4年度に佐田地域内のデイサービス事業所の再編を行ったため、当該施設が休止事業所に通っていた利用者の受け皿となった。そのため、令和4年度から利用者数が大幅に増加している。

・令和6年度は微減となっている。利用者確保に努めているが、地域の人口減少等もあり、今後は横ばい又はゆるやかに減少していくと思われる。

(3) 利用者アンケート

アンケートの実施状況

令和7年3月に実施した。

回答数	職員の対応・マナー・説明、施設管理・サービス	主な意見（問題点）・対応（効果）															
40 件	<table><tr><td>①非常に良い</td><td>19 件</td><td>47.5 %</td></tr><tr><td>②良い</td><td>15 件</td><td>37.5 %</td></tr><tr><td>③ふつう</td><td>6 件</td><td>15.0 %</td></tr><tr><td>④悪い</td><td>件</td><td>0.0 %</td></tr><tr><td>⑤非常に悪い</td><td>件</td><td>0.0 %</td></tr></table>	①非常に良い	19 件	47.5 %	②良い	15 件	37.5 %	③ふつう	6 件	15.0 %	④悪い	件	0.0 %	⑤非常に悪い	件	0.0 %	・細やかな気遣いと対応に感謝。 ・満足している。
①非常に良い	19 件	47.5 %															
②良い	15 件	37.5 %															
③ふつう	6 件	15.0 %															
④悪い	件	0.0 %															
⑤非常に悪い	件	0.0 %															

(4) 住民サービス向上の取組・事例

地域のふれあいサロンへの出前講座、地域交流会の実施等を計画した。

3. 自主事業について

総括	地域イベント等に積極的に参加したり、地域ボランティアと連携して清掃活動等をしている。また、認知症関係の学習会や救急法講習会等へ講師を派遣する等、地域の理解を深める努力をしている。
実施状況	感染症蔓延防止のため、不特定多数との交流等は行わなかった。

4. 施設の維持管理・安全対策について

・設備については、専門業者や有資格者職員により保守点検を実施し、事故等の未然防止に努めている。

・危機管理マニュアルを作成し、避難訓練を実施している。

5. 職員（従業員等）の接遇・研修について

新規採用職員については、接遇や基本理念等の研修受講を必須としている。

所属する課の全体研修を月1回開催し、必ず参加するようにしている（接遇等）

現場でのOJTを行っている。